

梨の栽培に最新技術を導入



初心者でも大丈夫 ICT建機

「私でも操作できる機械はありますか？」と事務所を訪れたのは福島県白河市で果樹園を経営する(株)自宇の社長 宋善吉さんだ。今回の現場は梨畑の整地作業。「自分で畑を整備したいと思い、建設機械の資格を取得しようと考えました。そこで、初心者の私でも操作できる機械が無いかとお店を訪ねました。」と詳しく教えてくれた。担当営業に話を聞いた。「宋社長から1ヘクタールの梨畑をご自身で整地するためにいい機械はないかとの相談を頂き、ICTブルドーザをご紹介させていただきました。正直、従来のブルドーザでしたら、これから資格を取得される予定だった社長にご紹介するのは難しかったと思います。丁張りで設計面通りに施工をサポートしてくれるICT建機があって良かったと思いました。」と笑顔で教えてくれた。



社長 宋善吉さん

福島県 (株)自宇様

福島県白河市で
果樹園を経営
最先端技術の建機で
整地がしてみたいとの思いで
スマートコンストラクションの
導入をした。

掲載月:2017年10月

収穫される 梨が楽しみです。

宋社長にD37PXiで施工した感想を聞いた。「ブルドーザは操作が難しいと聞いていたので、初心者の自分が施工出来るのか不安でした。ICTブルドーザに乗って3日目には自分でも出来るという確信が持てましたよ。ブルドーザの操作は全然難しくなかったし、スムーズに整地作業が出来ました。最新技術の建機に乗れてとても楽しかったです。」と話した。担当営業は、「資格取得してすぐにICTブルドーザを使用いただきましたが、綺麗に整地された畑に驚かされました。この畑で収穫される梨が楽しみです。」と嬉しそうに話す。こちらの畑は、新しい梨の栽培技術を導入しているため、3年後の収穫を目指しているそうだ。

